

江橋 崇 著

百人一首

ものと人間の文化史 189 / 四六判上製 366 頁

定価 3,850 円 (本体 3,500 円 + 税) / ISBN978-4-588-21891-0 C0320



いざ『ちはやふる』の世界へ！

江戸時代の初めに登場し、今なお遊び継がれている百人一首。しかしその誕生と発達の歴史はほとんど知られていない。文献史学に終始していた従来の研究方法から脱却すべく、博物館や自身が蒐集した百人一首の型式、歌人画から書体までを徹底的に調査し、固有の地域文化として発展したかるた札やその遊技法にも着目して、百人一首に秘められた数々の謎に迫る。

江橋 崇 (えばし・たかし)

1942年に生まれる。1966年、東京大学法学部卒業。法政大学法学部教授(憲法学)を経て、現在、同大学名誉教授。法政大学出版局から、『かるた』(ものと人間の文化史 173)、『花札』(ものと人間の文化史 167)も出版。

江橋崇・関連著書



〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学出版局 FAX 03-5214-5542

注 文 書	ものと人間の文化史 189	百人一首	定価 3850 円	冊	書店名・番線
	ものと人間の文化史 173	かるた	定価 3850 円	冊	
	ものと人間の文化史 167	花札	定価 3850 円	冊	

ご芳名
ご連絡先